

2022年11月11日

伊予銀行

2022年度中間期決算ダイジェスト



いよぎんホールディングス

(注) 本資料における将来の予想は、経営環境の変化等により変動する可能性がありますので、ご注意ください。

損益状況

- 引き続き高水準のコア業務粗利益を確保していることに加え、信用コストの減少、有価証券関係損益の増加により、経常利益、中間純利益は前年同期比で大幅な増益となりました。

2022年度中間決算(単体)

(単位:百万円)

	2022年度		増減率	2021年度
	中間期	前年同期比		
コア業務粗利益(注1)	42,256	+ 373	+ 0.9%	41,883
資金利益	37,591	+ 700		36,891
役務取引等利益	3,046	- 210		3,256
うち預り資産収益	853	+ 19		834
その他業務利益	1,617	- 118		1,735
経費(△)	24,865	+ 562	+ 2.3%	24,303
人件費	12,781	- 152		12,933
物件費	10,572	+ 369		10,203
税金	1,511	+ 345		1,166
コア業務純益(注2)	17,391	- 188	- 1.1%	17,579
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	19,138	+ 2,108	+ 12.4%	17,030
信用コスト(△)①+②-③-④	- 870	- 4,446		3,576
一般貸倒引当金繰入額①	-	- 495		495
不良債権処理額②	167	- 3,168		3,335
貸倒引当金戻入益③	888	+ 888		-
償却債権取立益④	149	- 104		253
有価証券関係損益	7,175	+ 3,191		3,984
国債等債券関係損益	5,846	+ 5,675		171
株式等関係損益	1,328	- 2,484		3,812
その他の臨時損益	1,890	+ 102		1,788
経常利益	27,327	+ 7,552	+ 38.2%	19,775
特別損益	- 122	- 57		- 65
税引前中間純利益	27,205	+ 7,496		19,709
中間純利益	19,184	+ 5,182	+ 37.0%	14,002
経常収益	76,230	+ 15,888	+ 26.3%	60,342

(注1)コア業務粗利益…国債等債券関係損益を除く「業務粗利益」

(注2)コア業務純益…コア業務粗利益 - 経費

主な増減要因等(前年同期比)

コア業務粗利益…前年同期比+373百万円

- 外貨貸出金・有価証券の増強により、資金利益が増加
- 融資関係手数料の減少等により、役務取引等利益が減少

経費…前年同期比+562百万円

- 戦略投資の積極化により物件費が増加したほか、消費税増加により、税金が増加

コア業務粗利益の増加の一方、経費の増加によりコア業務純益は減益

前年同期比△188百万円

信用コスト…前年同期比△4,446百万円(内訳は下記参照)

- コロナ対応引当金の取崩等により、一般貸倒引当金繰入額が減少
- 倒産等の減少により、不良債権処理額が減少

有価証券関係損益…前年同期比+3,191百万円

国債等債券関係損益(前年同期比+5,675百万円)

- 外国債券の売却益増加により、国債等債券関係損益が増加

株式等関係損益(前年同期比△2,484百万円)

- 政策保有株式の売却益減少により、株式等関係損益が減少

信用コストの減少、有価証券関係損益の増加により、経常利益は増益

前年同期比+7,552百万円

以上の結果、中間純利益は増益 前年同期比+5,182百万円

(参考)信用コストの内訳

	2022年度	2021年度	前年
	中間期	中間期	同期比
信用コスト(△)①+②-③	△ 870	3,576	△ 4,446
①一般貸倒引当金繰入額	△ 2,419	495	△ 2,914
②不良債権処理額	1,698	3,335	△ 1,637
うち個別貸倒引当金繰入額	1,530	3,230	△ 1,700
③償却債権取立益	149	253	△ 104

(注)2022年度中間期は、一般貸倒引当金繰入額と個別貸倒引当金繰入額の合計額を貸倒引当金戻入益に計上している。

預貸金・預り資産の状況

- 「預金等+預り資産残高」は、前年同月末比 705億円増加して7兆274億円となりました。
- 「貸出金残高」は、前年同月末比 2,983億円増加して5兆2,574億円となりました。

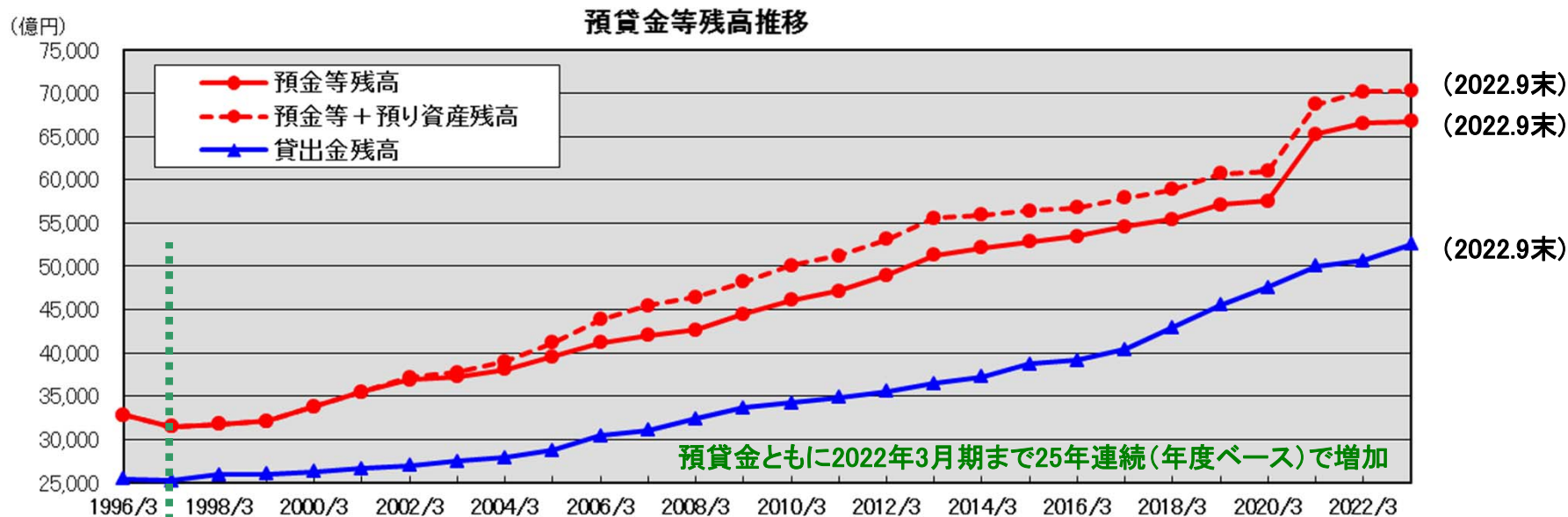
預貸金・預り資産残高推移(単体)

(単位:億円)

	2020年3月末	2021年3月末	2022年3月末		2022年9月末		増減率
			2021年9月末		前年同月末比		
預金等残高	57,543	65,226	66,030	66,541	66,697	+ 667	+ 1.0%
うち個人預金	35,125	37,407	37,940	38,508	38,899	+ 959	+ 2.5%
預り資産残高(注1)	3,397	3,483	3,539	3,611	3,577	+ 38	+ 1.1%
預金等+預り資産残高	60,941	68,709	69,569	70,152	70,274	+ 705	+ 1.0%
(参考)四国アライアンス証券預り資産残高(注2)	2,024	2,452	2,463	2,460	2,542	+ 79	+ 3.2%
貸出金残高	47,566	49,993	49,591	50,688	52,574	+ 2,983	+ 6.0%
うち中小企業等	35,270	37,288	37,133	38,087	39,679	+ 2,546	+ 6.9%
中小企業向け貸出金	24,026	25,698	25,469	26,346	27,936	+ 2,467	+ 9.7%
個人向け貸出金	11,243	11,589	11,663	11,740	11,743	+ 80	+ 0.7%
うち住宅ローン	8,318	8,707	8,796	8,855	8,866	+ 70	+ 0.8%

(注1) 預り資産残高 … 国債、投資信託、保険、金融商品仲介の各残高の合計。

(注2) 四国アライアンス証券預り資産残高は、「預金等+預り資産残高」には含まれていない。



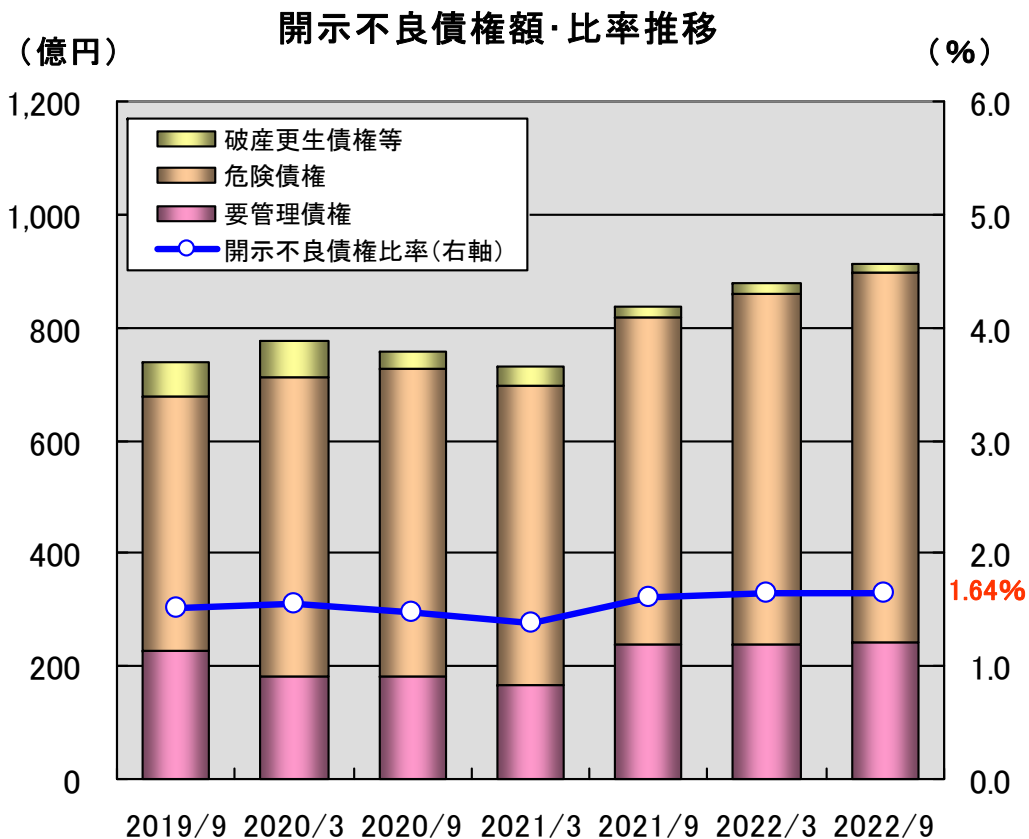
開示不良債権の状況

● 金融再生法開示基準による不良債権比率は1.64%となり、引き続き低水準を維持しております。

金融再生法開示基準による不良債権

(単位: 億円)

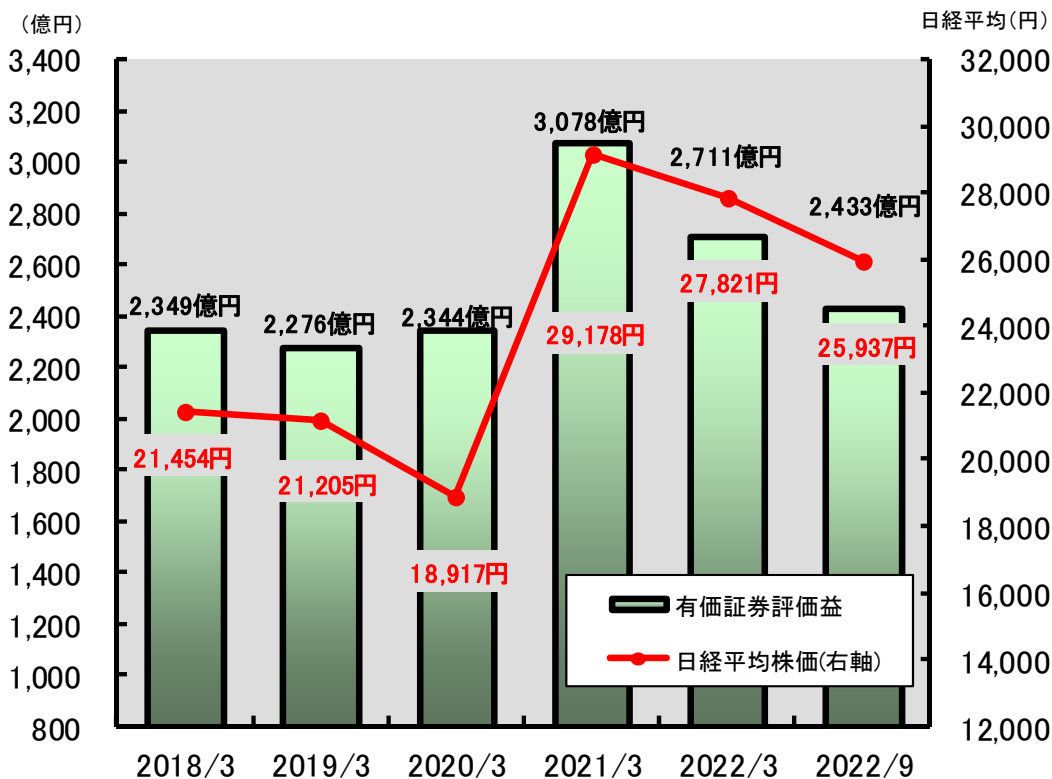
	2021年 9月末	2022年 3月末	2022年 9月末	2022年3月 末比		2021年9月 末比	
				2022年3月 末比	2021年9月 末比		
破産更生債権及び これらに準ずる債権	18	17	16	▲ 1	▲ 2		
危険債権	579	623	653	30	74		
要管理債権	239	237	243	6	4		
うち三月以上延滞債権	21	20	26	6	5		
うち貸出条件緩和債権	217	217	216	▲ 1	▲ 1		
開示不良債権合計	837	879	912	33	75		
正常債権	51,434	52,573	54,458	1,885	3,024		
合 計	52,272	53,452	55,371	1,919	3,099		
開示不良債権比率	1.60%	1.64%	1.64%	-	0.04%		



有価証券評価益及び自己資本比率

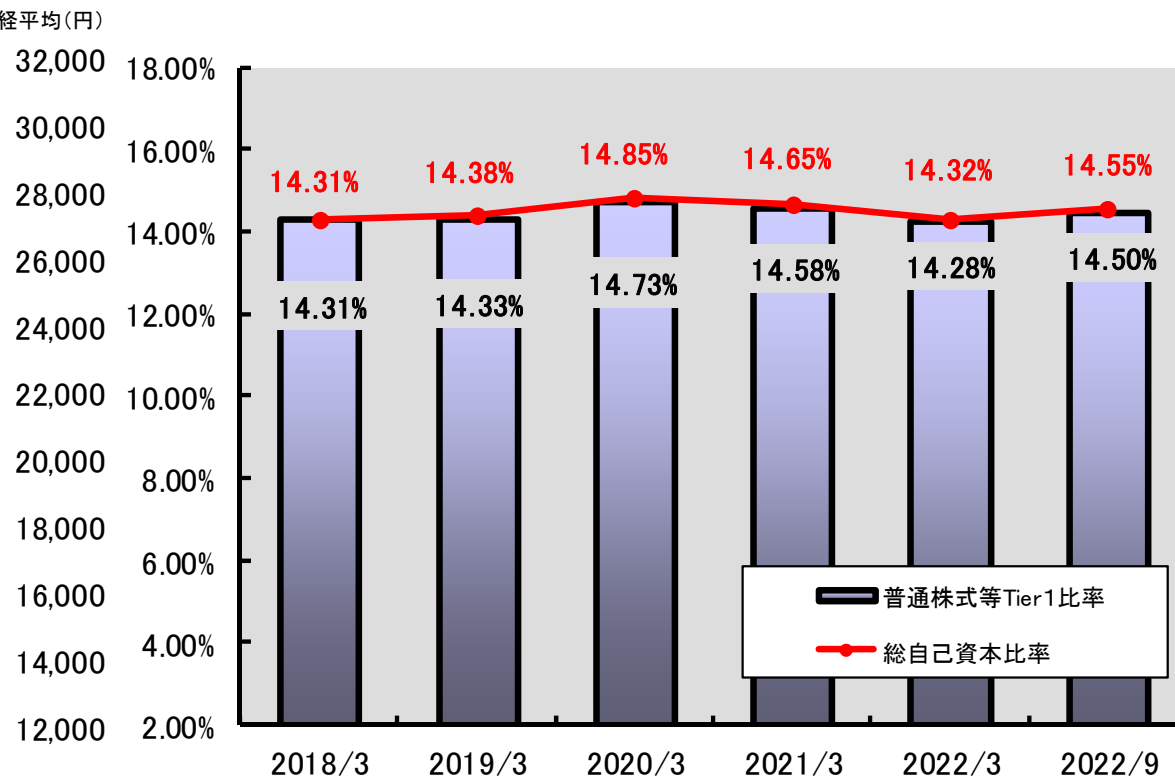
- 有価証券評価益は、2,433億円と地銀トップクラスの水準を確保しております。
- バゼルⅢ基準(国際統一基準)による連結総自己資本比率は14.55%であり、所要自己資本比率を余裕をもってクリアしております。

有価証券評価益(単体)の推移



自己資本比率(連結)の推移

(バゼルⅢ基準)



(注) 金銭の信託に係る評価損益を除く。

連結決算の状況

● 連結決算は、経常収益862億円、経常利益289億円、親会社株主に帰属する中間純利益198億円となりました。

連結決算状況

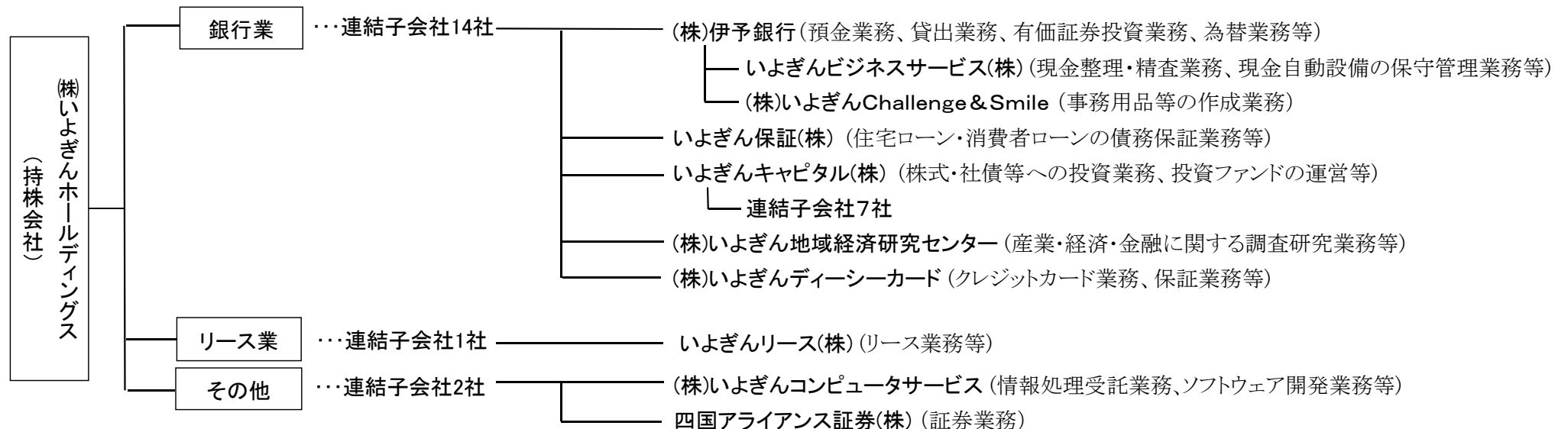
(単位:百万円)

	2022年度			2021年度 中間期	連単差(注)
	中間期	前年同期比	増減率		
経常収益	86,212	15,587	+ 22.1%	70,625	9,982
経常利益	28,915	7,743	+ 36.6%	21,172	1,588
親会社株主に帰属する中間純利益	19,877	5,010	+ 33.7%	14,867	693

(注) 連結と単体の差です。

持株会社設立後の事業系統図

2022年10月3日、株式会社伊予銀行の単独株式移転により持株会社(完全親会社)である「株式会社いよぎんホールディングス」を設立し、持株会社体制へ移行しました。なお、移行後の事業系統図は以下の通りです。



(注) 上記の他、持分法非適用の非連結子会社2社、持分法非適用の関連会社4社を有しております。

諸利益指標・2022年度(年間)業績予想

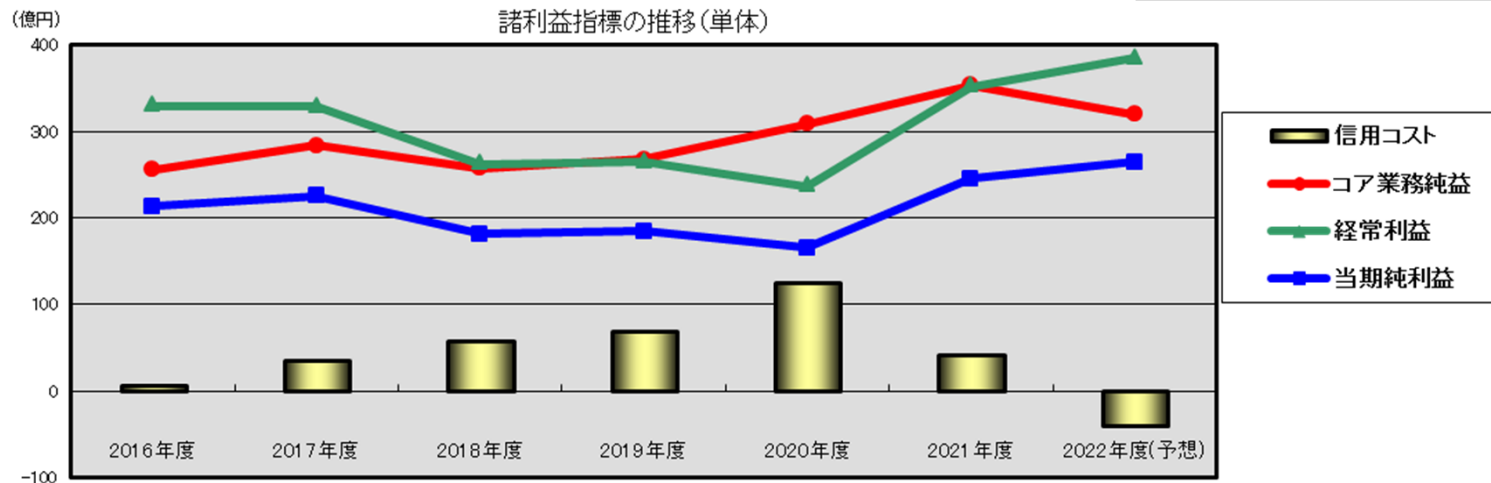
- 2022年度年間の経常利益は385億円(前年度比+32億円)、当期純利益は265億円(前年度比+18億円)を予想しております。
- 2022年度の年間配当は、引き続き長期的な安定配当に努めていく方針であり、年間配当16円(伊予銀行中間配当8円、持株会社期末配当8円)を予定しております。

(単位:百万円)

【単体】	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度		
							予想	増減	増減率
コア業務粗利益	73,891	77,562	76,176	76,768	80,595	84,545	82,000	- 2,545	- 3.0%
うち資金利益	67,354	69,769	66,441	66,200	71,354	72,455	74,000	+ 1,545	+ 2.1%
うち役務等利益	5,652	6,642	7,063	7,114	6,201	6,299	6,000	- 299	- 4.7%
経費(△)	48,277	49,111	50,357	49,933	49,660	49,086	50,000	+ 914	+ 1.9%
コア業務純益	25,613	28,450	25,818	26,835	30,934	35,459	32,000	- 3,459	- 9.8%
信用コスト(△)	699	3,516	5,806	6,910	12,504	4,203	-4,000	- 8,203	- 195.2%
有価証券関係損益	6,959	6,043	4,155	3,516	3,737	1,188	0	- 1,188	- 100.0%
経常利益	33,060	32,923	26,349	26,581	23,776	35,234	38,500	+ 3,266	+ 9.3%
当期純利益	21,414	22,662	18,262	18,502	16,679	24,660	26,500	+ 1,840	+ 7.5%
経常収益	99,291	102,209	107,222	106,398	104,428	114,142	147,000	+ 32,858	+ 28.8%

【連結】	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度		
							IHD連結予想	増減	増減率
経常利益	35,428	36,099	28,658	29,413	26,172	38,239	41,000	+ 2,761	+ 7.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	21,797	23,639	18,527	18,922	18,088	26,417	28,000	+ 1,583	+ 6.0%
経常収益	117,276	120,985	126,286	126,506	124,817	133,971	167,000	+ 33,029	+ 24.7%

1株当たり配当金	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	増減	増減率
	12円	14円 (記念配当2円)	14円	14円	14円	16円	16円	-	-



(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としております。実際の業績は、今後の経営環境の変化等の様々な要因によって変動する可能性があります。